

# 令和2年度第2回新居浜市防災会議

## 議事録

日時 令和3年1月26日火曜日 15:00～15:55  
場所 新居浜市消防防災合同庁舎5階 災害対策室  
出席者 新居浜市防災会議会長 新居浜市長 石川 勝行  
新居浜市防災会議委員 佐藤 正之、秦 恭裕、高橋 節哉、高須賀 久範(代)、加藤 龍彦、  
原 一之、庄司 誠一、亀井 利行、藤田 憲明、原 正夫、  
河端 晋治、高須賀 健二、毛利 弘、堀田 公、黒下 敏男、  
大石 健二、寺尾 康史(代)、松本 耕輔、星加 勝一、宮前 港、  
村上 美記、三木 由紀子、秋月 剛、鈴木 誠祐、松本 歓喜  
欠席者 5名  
事務局 5人  
傍聴者 4名

### 1 開会

### 2 防災会議会長あいさつ

○防災会議会長（石川市長）

### 3 出席者紹介（自己紹介）

### 4 議事

#### （1）新居浜市地域防災計画の修正について

○事務局（危機管理課）

事務局より修正箇所の説明

○宮前港委員（質問）

先ほどの説明の中で、防災士や自主防災組織などへの女性の参画の強化とありましたが、具体的にどのように強化したいとお考えでしょうか。

○事務局（回答）

全国的に災害発生時には女性の参画が十分に進んでいないため様々な課題が生じおり、平時から防災活動に男女共同参画の視点を取り入れることが重要です。

現在、新居浜市の女性防災士が全体の20%程度であり十分な人数とは言えず、今回の修正では平常時の備えから初動体制、避難生活、復旧、復興まで男女共同参画の視点から積極的な女性の参画を促すことを加えております。

具体的には、男女双方に配慮した防災活動や防災訓練、また、現在取り組んでいただいている地区防災計画の策定につきましても、女性の防災士の方々にご協力いただき、女性の視点を取り入れた地区防災計画の策定を支援してまいりたいと考えています。

今後も、自主防災組織や防災士の活動には可能な限り女性の参画がしやすい環境づくりに努めてまいります。

#### ○三木由紀子委員（質問）

災害時における避難行動に対して、障がい者や高齢者等で避難に支援が必要になりますが、新居浜市での取り組みについて伺いたい。

#### ○事務局（回答）

災害時に自力で避難できない方については、地域の支援者によりリストを作成いただいて、避難支援を行う取り組みを行っています。

対象者として、75歳以上の高齢者のみの世帯、要介護度3以上の方、身体障害者手帳1級、2級をお持ちの方、療育手帳A級をお持ちの方、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方となりますが、現在も民生委員の方に新たな登録のための個別訪問を依頼しています。

現在、避難行動要支援者対象者の方は約15,000人いらっしゃり、要支援者登録をいただいた方は約2,000人で約15%に満たない状況ですが、対象者でも、「一人で避難できるから」といって登録を遠慮される方も多数おられるが、地域支援者が見つからず登録されない方もいらっしゃいます。

こういった方につきましては、本人の了解を得て警察、消防団、民生委員等にリストを渡しており、地域支援者が見つからなくても要支援者登録ができる旨を周知しているところです。

また、要支援者をだれが支援し、どのように避難するかを決めた「個別計画」の策定が全国的に進まないことから、政府の有識者会議では福祉専門職、社会福祉協議会、民生委員等、日常の支援者や地域住民の方々との連携や人材の確保、育成を支援する仕組みづくりについて対応に方向性が示されたことから、具体的な支援策も示されると思いますので、今後の動向にも注視してまいります。

#### ○星加勝一委員（質問）

分散避難の推進とありますが、地域としましては、新型コロナ対策として有効なものと理解しており、状況に応じて自宅での避難も考慮しているが、その場合行政の支援はどのようなものになるか教えていただきたい。

#### ○事務局（回答）

緊急時の避難物資、食料や飲料水については個別の家庭に届けることは困難と考えており、拠点となる公民館や学校へ自治会単位で受取りに来ることが現実的ではないかと考えています。

そのようなことも踏まえ、本市としても家庭や個人での備蓄をお願いしており、災害に備えていただきたいと考えています。

○村上美記委員（質問）

市・NPO・ボランティア等の三者連携とは具体的にどのような連携になるのか。

○事務局（回答）

災害の規模が大きければ大きいほど支援していただける団体は増えてくると考えており、災害時応急業務と並行して多数の支援団体間の調整は困難になると想定しています。

このようなことから、NPO、行政だけではなく、第三者として中間支援組織によるマッチングをいただければスムーズな対応ができるため、それぞれが役割分担を踏まえた形で実行、推進していきたいと考えています。

熊本地震でも、地元NPO等が中心となり「火の国会議」を立ち上げ、活動の環境整備や支援者間の調整が行われたと聞きます。

本市におきましても、平時から社会福祉協議会などの関係機関と顔の見える関係づくりや防災訓練などにおける連携が必要であると感じておりますので、今後さらなる連携を強化してまいりたいと考えています。

○防災会議会長（石川市長）

地域防災計画修正（案）については、本日頂きました御意見を加味し、事務局にて修正後、パブリックコメントを経て、第3回の防災会議をもって取りまとめを行いたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

（2）その他

なし

## 5 閉会

○事務局（危機管理課）

今後の予定でございますが、2月15日（月）から3月15日（月）の間でパブリックコメントを行いまして、市民の意見を募集し、3月下旬に第3回防災会議を基本的には書面会議にて開催し、最終決定いたしますので、よろしくお願い致します。

最終決定された資料については、変更があるページのみ印刷し、みなさまに配布いたしますので、差替えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和2年度 第2回新居浜市防災会議を終了いたします。ありがとうございました。

以上